国際舞台芸術ミーティング in横浜（TPAM）2020に参加

国際舞台芸術ミーティング（略称TPAM）は同時代の舞台芸術に取り組む国内外のプロフェッショナルが集い、舞台芸術の創造・普及・活性化のために交流をする場として、アジアで最も影響力のある舞台芸術プラットフォームです。2020年2月に行われたTPAMにおいて、表現コミュニケーションコース第4期生が2月14日-16日の日程で公演を行いました。卒業公演で創作された余越保子監修・演出『OHG』および前田司郎作・演出『思考力0の日記』を上演。また、終演後は本校で行われている表現教育についてレクチャーし、この教育を受けた生徒の生の声を交えながら、表現教育の意義を観客に届けました。

演劇部　第70回大阪府高等学校演劇研究大会 最優秀賞　3年連続受賞　大阪府代表として近畿大会へ出場

2020年11月14、15日の二日間、第70回大阪府高等学校演劇研究大会は、Covid19感染対策のため各地区大会の代表校1校、計9校が参加し、例年よりも規模を縮小して開催された。観客を出場校に限定した空席だらけの劇場での上演は、観客の反応を感じられない難しい上演であったし、審査員講評も閉会式も行われず、審査結果発表もWeb上であった。

Covid19感染対策によって当たり前と思っていた日常が失われ、高校3年生たちは高校最後になる部活動や学校行事を奪われた。折しも大学入試改革によって新入試制度が始まる今年度の3年生たちは将来や進路に対する不安に苛まれ、鬱々として学校へ足が向かなくなる生徒も見受けられる。本作品は先が見えない不安の中にあっても、互いに寄り添いあうことで前を向いて歩いていこうという、困難を抱える仲間へのエールでもある。

追手門学院高等学校（67期）卒業
追手門学院大学在学中　東京オリンピック　女子ラグビー（セブンス）日本代表候補

室越 香南

追手門学院高等学校出身、現追手門学院大学2年の室越香南です。私は小学2年生の時、仲間を信じてボールを繋げるスポーツ、ラグビーに出会い、そして今、日本代表として東京オリンピックに出場することを目指しています。一度決めたことは絶対にやり遂げる、納得のいくまで諦めない性格なので、これまでもメンバー落ちや怪我など、心身ともにマイナスな状態に陥る事も多々ありましたが、決めた目標は絶対に曲げずに自分自身と戦い今日まで過ごしてきました。この追手門学院では多く方の支援、サポートをいただき、またラグビーというスポーツを通して大きく成長する事ができました。私のラグビー人生はこの先もまだまだ続いていくと思いますが、まずは東京オリンピックに出場しメダル獲得する事を目指して日々頑張りたいと思います！